

第20回数理科学コロキウム～数理科学の最前線と展望～

東京都立大学理学研究科数理科学専攻では、各分野の研究成果の社会還元の一環として、一般の方々を対象に、数理科学の最前線の研究や展望を紹介するコロキウム（談話会）を開催しております。今回は、以下の日程・内容で、オンライン形式にて開催いたしますので、奮ってご参加ください。この機会に、本専攻に対するご理解を、より一層深めていただければ幸いに存じます。

開催日：2023年11月25日（土）

13:00～13:50

講師：高津飛鳥 准教授（東京都立大学理学研究科数理科学専攻）

題目：問い：地球が曲がっていることを示しなさい。

概要：現在、地球が丸い（よって平面ではない）ということは周知の事実です。しかし、当たり前だと思われることの証明は、時として困難さを伴います。本講演では最適輸送理論を用いた「地球が曲がっていること」の証明法を説明します。

14:00～14:50

講師：関 行宏 准教授（東京都立大学理学研究科数理科学専攻）

題目：非線形拡散方程式の様々な解の振る舞い

概要：拡散方程式は19世紀のフーリエによる熱伝導の研究から始まりました。現代の偏微分方程式論では非線形の問題が主流であり、拡散による効果と非線形性による効果を対比します。本講演ではある典型的な数理モデルに着目して、その豊富な解挙動について紹介します。

参加を希望される方は、①氏名、②所属（学校名・学年等）、③メールアドレスを、下記広報担当までお知らせ願います。折り返しミーティングURL等をご連絡いたします。

数理科学専攻広報担当：横田 (jojo@tmu.ac.jp)

備考：コロキウム終了後、希望者を対象として、本学の大学院受験に関する個別相談を実施する予定です。こちらもぜひご活用ください。